

令和2年国勢調査

神奈川県 従業地・通学地による人口・就業 状態等集計結果

令和2年 10月1日現在

令和4年9月

令和 2 年国勢調査の概要

調査の目的

国勢調査は、我が国の人口、世帯、産業構造等の実態を明らかにし、国及び地方公共団体における各種行政施策の基礎資料を得ることを目的として行われる国の最も基本的な統計調査である。調査は大正 9 年以来 5 年ごと※に行われており、令和 2 年国勢調査はその 21 回目に当たり、実施 100 年の節目となる調査である。

※ 国勢調査は原則 5 年ごとに実施されるが、昭和 22 年国勢調査（第 6 回）は臨時調査であり、昭和 15 年国勢調査（第 5 回）とは 7 年間隔、昭和 25 年国勢調査（第 7 回）とは 3 年間隔である。

調査の時期

令和 2 年国勢調査は、令和 2 年 10 月 1 日午前零時現在によって行われた。

従業地・通学地による人口・就業状態等集計とは

従業地・通学地による人口・就業状態等集計は、全ての調査票を用いて従業地・通学地による人口の構成や現在住んでいる市区町村と従業地・通学地の市区町村との関係などを集計した結果である。この結果によって、昼間人口や昼夜間人口比率などを把握することができる。

これらについての詳細な結果は、下記 URL（政府統計の総合窓口（e-Stat））を参照のこと。

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search?page=1&toukei=00200521>

用語の解説

従業地・通学地

「従業地・通学地」とは、就業者が仕事をしている場所又は通学者が通学している学校の場所をいい、次のとおり区分している。なお、外勤の職員、運転手などのように雇われて戸外で仕事をしている人については、所属している事業所のある市区町村を、船の乗組員（雇用者）については、その船が主な根拠地としている港のある市区町村をそれぞれ従業地としている。

区分	内容
自市区町村	従業地・通学地が現在住んでいる市区町村と同一の市区町村の者
自宅	従業地が自宅の者
自宅外	従業地・通学地が「自宅」以外の者
他市区町村	従業地・通学地が現在住んでいる市区町村以外の者
県内	政令指定都市に住んでいる者のうち、従業地・通学地が同じ市内の他区の者 東京都特別区部内に住んでいる者のうち、従業地・通学地が他区の者
自市内他区	
県内他市町村	従業地・通学地が同じ都道府県内の他市町村の者
他県	従業地・通学地が他の都道府県の者
従業・通学市区町村「不詳・外国」	従業地・通学地が現在住んでいる市区町村以外であるが、市区町村名が不詳の者又は外国の者
従業地・通学地「不詳」	従業地・通学地が不詳の者

夜間人口（常住地による人口）

調査時（令和2年10月1日）に調査の地域に常住している者をいう。

昼間人口（従業地・通学地による人口）

当該集計の結果を用いて、次の式により算出された者をいう。

なお、夜間勤務及び夜間通学の者も昼間人口に含まれているが、買い物客や観光客などは含まれていない。

[例：A市の昼間人口の算出方法]

$$A \text{市の昼間人口} = A \text{市の夜間人口} - A \text{市からの流出口}^{\text{注1}} + A \text{市への流入人口}^{\text{注2}}$$

注1) A市からA市以外への通勤・通学者数

注2) A市以外からA市への通勤・通学者数

昼夜間人口比率

次の式により算出され、100を上回っているときは昼間人口が夜間人口を上回ることを示し、100を下回っているときは昼間人口が夜間人口を下回ることを示している。

[例：A市の昼夜間人口比率の算出方法]

$$A \text{市の昼夜間人口比率} = (A \text{市の昼間人口} / A \text{市の夜間人口}) \times 100$$

その他の用語

その他の用語は、『令和2年国勢調査 調査結果の利用案内 ユーザーズガイド』を参照のこと。

<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka/sankou.html>

目 次

I	従業地・通学地別人口	1
1	従業地・通学地別人口	1
2	市区町村別の従業地・通学地別人口	2
II	流出人口・流入人口	4
III	市区町村別昼夜間人口比率	6

結果の解説

利用上の注意

・本文及び図表中の数値は、表章単位未満で四捨五入している。なお、割合などの各種計算値の算出に当たっては、単位未満を含んだ数値を用いている。

※不詳補完値について

総務省統計局は、令和2年国勢調査の集計に当たり、結果利用者の利便性向上を図るため、主な項目の集計結果（原数値）に含まれる「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」を算出し、これを表章した統計表を参考表として提供している。また、5年前との比較を可能とするため、平成27年国勢調査を同様の方法で遡及集計した結果（不詳補完値）を提供している。

不詳補完値の算出方法等詳細については、以下の総務省統計局のホームページを参照のこと。

<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka.html>

神奈川県 市区町村地図



I 従業地・通学地別人口

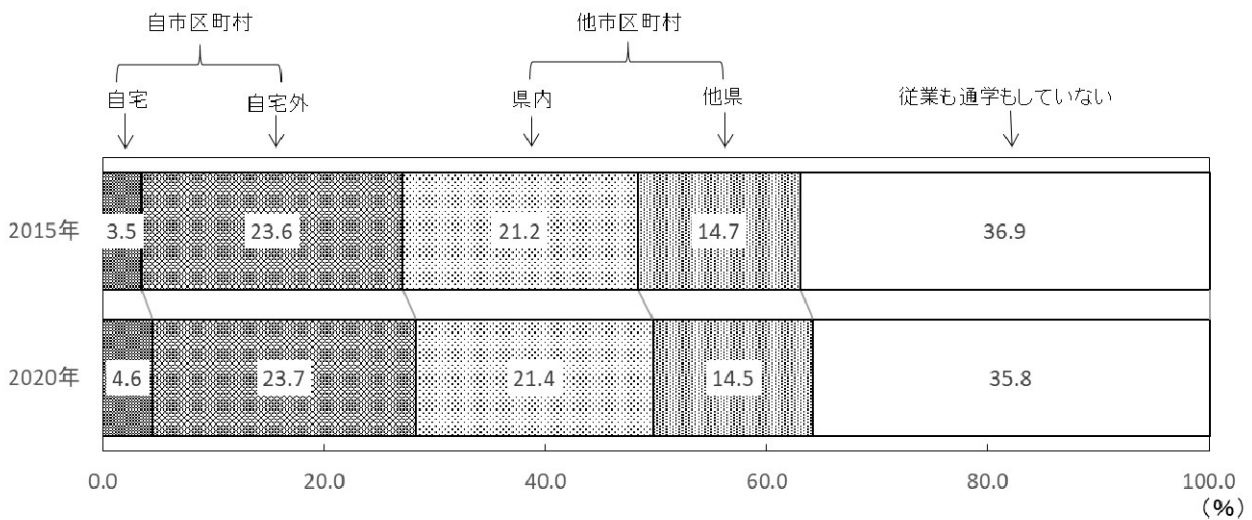
1 従業地・通学地別人口

従業又は通学をする者の割合は上昇

神奈川県的人口（923万7337人）を従業地・通学地別にみると、「自市区町村」が261万5057人（総人口の28.3%）、「他市区町村」が331万8009人（35.9%）、「従業も通学もしていない」が330万4271人（35.8%）となっている。

神奈川県のご総人口に占める割合を2015年と比べると、「自市区町村」が1.2ポイントの上昇、「他市区町村」が0.1ポイントの低下となり、従業又は通学をする者の割合は上昇となっている。一方、「従業も通学もしていない」は1.1ポイントの低下となっている。（表I-1-1、図I-1-1）

図I-1-1 従業地・通学地別人口の割合—神奈川県（2015年～2020年）



注) 不詳補完値による。

表I-1-1 従業地・通学地別人口—神奈川県（2015年～2020年）

従業地・通学地	実数（人）		増減数（人）	割合（%）		ポイント差
	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	2015年 ～2020年	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	2015年 ～2020年
総数	9,126,214	9,237,337	111,123	100.0	100.0	0.0
従業も通学もしていない 1)	3,366,170	3,304,271	-61,899	36.9	35.8	-1.1
自市区町村	2,477,115	2,615,057	137,942	27.1	28.3	1.2
自宅	319,710	421,216	101,506	3.5	4.6	1.1
自宅外	2,157,405	2,193,841	36,436	23.6	23.7	0.1
他市区町村	3,282,929	3,318,009	35,080	36.0	35.9	-0.1
県内	1,937,585	1,981,197	43,612	21.2	21.4	0.2
他県	1,345,344	1,336,812	-8,532	14.7	14.5	-0.3
うち就業者	4,595,768	4,824,628	228,860	100.0	100.0	0.0
自市区町村	1,733,031	1,885,125	152,094	37.7	39.1	1.4
自宅	319,710	421,216	101,506	7.0	8.7	1.8
自宅外	1,413,321	1,463,909	50,588	30.8	30.3	-0.4
他市区町村	2,862,737	2,939,503	76,766	62.3	60.9	-1.4
県内	1,676,510	1,736,171	59,661	36.5	36.0	-0.5
他県	1,186,227	1,203,332	17,105	25.8	24.9	-0.9

注) 不詳補完値による。

1) 労働力状態「完全失業者」、「家事」及び「その他」

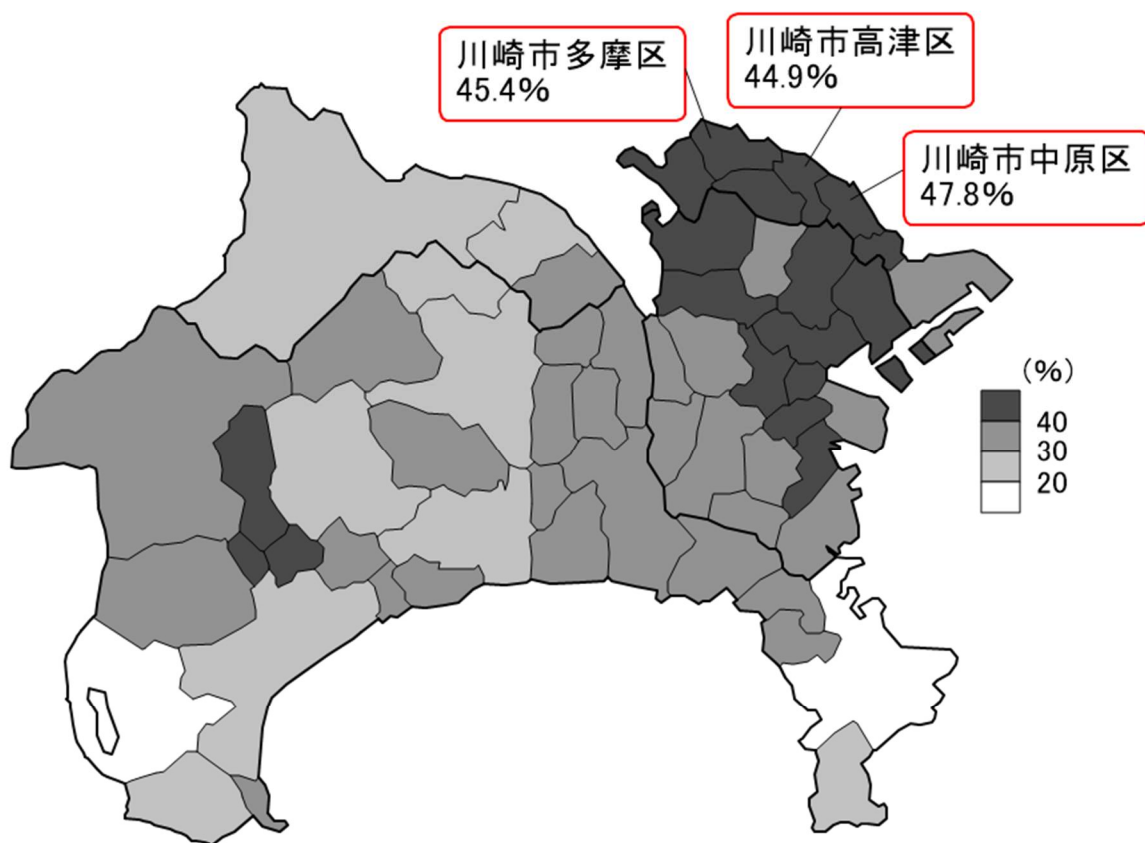
2 市区町村別の従業地・通学地別人口

「他市区町村」に通勤又は通学している者の割合は、川崎市中原区が47.8%と最も高い

市区町村別人口に占める従業地・通学地別の割合について、「他市区町村」をみると、「他県」は川崎市中原区が31.6%と最も高く、次いで川崎市多摩区(30.8%)、川崎市高津区(29.0%)などとなっている。「県内」は大井町が36.3%と最も高く、次いで開成町(35.9%)、松田町(35.9%)などとなっている。「他県」及び「県内」を合わせた「他市区町村」は、川崎市中原区が47.8%と最も高く、次いで川崎市多摩区(45.4%)、川崎市高津区(44.9%)などとなっている。

一方、「自市区町村」は箱根町が58.8%と最も高く、次いで厚木市(41.9%)、小田原市(39.9%)などとなっている。(表I-2-1、図I-2-1)

図I-2-1 従業地・通学地が「他市区町村」の割合—市区町村(2020年)



注) 不詳補完値による。

Ⅱ 流出人口・流入人口

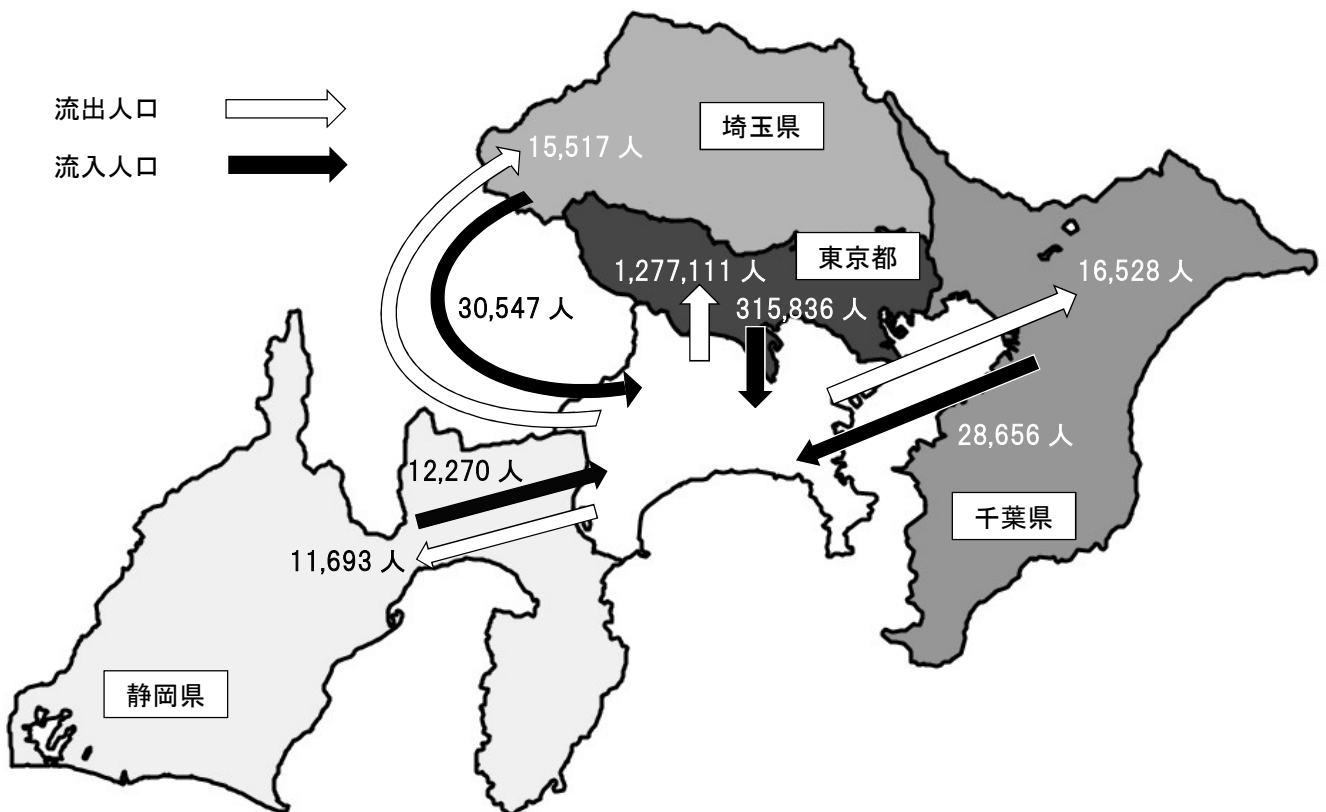
流出人口及び流入人口は減少、東京都への通勤・通学が最も多い

神奈川県から他県へ通勤又は通学している流出人口は133万6812人(うち就業者は120万3332人)で、2015年と比べて8532人の減少となっている。

また、他県から神奈川県へ通勤又は通学している流入人口は40万5189人(うち就業者は35万1156人)で、2015年と比べて1万506人の減少となっている。

流出人口と流入人口の差は93万1623人(うち就業者は85万2176人)で流出超過となっている。従業地・通学地を都道府県別に見ると、東京都への通勤・通学が最も多い。

図Ⅱ-1 流出人口・流入人口-神奈川県(2020年)



注) 不詳補完値による。

表Ⅱ－１ 流出人口・流入人口－神奈川県（2015年～2020年）

従業地・通学地	実数（人）		増減数（人）	割合（％）		ポイント差
	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	2015年 ～2020年	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	2015年 ～2020年
流出人口 A	1,345,344	1,336,812	-8,532	100.0	100.0	0.0
東京都	1,274,293	1,277,111	2,818	94.7	95.5	0.8
千葉県	17,542	16,528	-1,014	1.3	1.2	-0.1
埼玉県	16,338	15,517	-821	1.2	1.2	-0.1
静岡県	11,631	11,693	62	0.9	0.9	0.0
その他	25,540	15,963	-9,577	1.9	1.2	-0.7
うち就業者	1,186,227	1,203,332	17,105	88.2	90.0	1.8
流入人口 B	415,695	405,189	-10,506	100.0	100.0	0.0
東京都	316,905	315,836	-1,069	76.2	77.9	1.7
千葉県	29,762	28,656	-1,106	7.2	7.1	-0.1
埼玉県	31,951	30,547	-1,404	7.7	7.5	-0.1
静岡県	12,630	12,270	-360	3.0	3.0	-0.0
その他	24,447	17,880	-6,567	5.9	4.4	-1.5
うち就業者	351,350	351,156	-194	84.5	86.7	2.1
流出人口と流入人口の差（A－B）	929,649	931,623	1,974	-	-	-
東京都	957,388	961,275	3,887	-	-	-
千葉県	-12,220	-12,128	92	-	-	-
埼玉県	-15,613	-15,030	583	-	-	-
静岡県	-999	-577	422	-	-	-
その他	1,093	-1,917	-3,010	-	-	-
うち就業者	834,877	852,176	17,299	-	-	-

注）不詳補完値による。

Ⅲ 市区町村別昼夜間人口比率

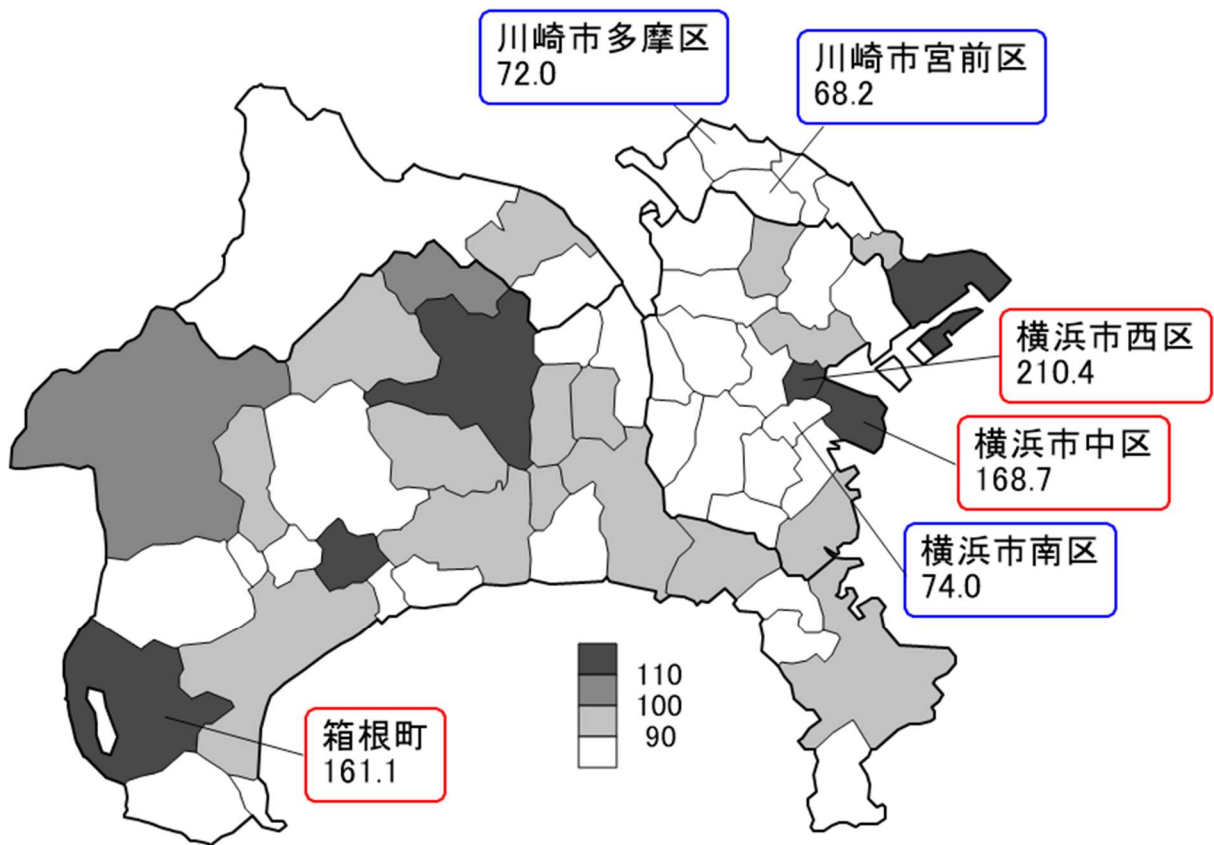
昼夜間人口比率は、横浜市西区が 210.4 と最も高く、川崎市宮前区が 68.2 と最も低い

神奈川県の日間人口を市区町村別にみると、藤沢市が 40 万 3426 人と最も多く、次いで横須賀市 (35 万 5222 人)、横浜市港北区 (32 万 2449 人) などとなっている。

昼夜間人口比率をみると、横浜市西区が 210.4 と最も高く、次いで横浜市中区 (168.7)、箱根町 (161.1) などとなっており、8 市区町で日間人口が夜間人口を上回っている。一方、川崎市宮前区が 68.2 と最も低く、次いで川崎市多摩区 (72.0)、横浜市南区 (74.0) などとなっている。

昼夜間人口比率を 2015 年と比べると、35 市区町村で上昇、23 市区町村で低下となっている。最も上昇したのは横浜市西区で 10.9 ポイントの上昇、最も低下したのは川崎市川崎区で 4.1 ポイントの低下となっている。 (表Ⅲ-1、図Ⅲ-1)

図Ⅲ-1 昼夜間人口比率-市区町村 (2020 年)



注) 不詳補完値による。

表Ⅲ－１ 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率－市区町村（2015年～2020年）

市区町村	昼間人口（人）		夜間人口（人）		昼夜間人口比率				ポイント差 2015年～ 2020年
	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	2015年 （平成27年）	順位	2020年 （令和2年）	順位	
神奈川県	8,196,565	8,305,714	9,126,214	9,237,337	89.8	－	89.9	－	0.1
横浜市	3,369,948	3,440,070	3,724,844	3,777,491	90.5	－	91.1	－	0.6
鶴見区	247,809	253,976	285,356	297,437	86.8	27	85.4	33	-1.5
神奈川区	235,894	239,659	238,966	247,267	98.7	9	96.9	14	-1.8
西区	196,646	220,817	98,532	104,935	199.6	1	210.4	1	10.9
中区	248,000	255,403	148,312	151,388	167.2	2	168.7	2	1.5
南区	144,718	146,538	194,827	198,157	74.3	54	74.0	56	-0.3
保土ヶ谷区	169,356	166,859	205,493	207,811	82.4	35	80.3	40	-2.1
磯子区	135,126	135,200	166,229	166,731	81.3	39	81.1	38	-0.2
金沢区	193,048	194,772	202,229	198,939	95.5	17	97.9	11	2.4
港北区	313,111	322,449	344,172	358,530	91.0	23	89.9	25	-1.0
戸塚区	237,606	242,516	275,283	283,709	86.3	29	85.5	32	-0.8
港南区	166,918	166,664	215,736	215,248	77.4	46	77.4	48	0.1
旭区	190,608	192,558	247,144	245,174	77.1	48	78.5	45	1.4
緑区	143,898	146,495	180,366	183,082	79.8	43	80.0	42	0.2
瀬谷区	100,664	98,854	124,560	122,623	80.8	40	80.6	39	-0.2
栄区	96,392	96,396	122,171	120,194	78.9	45	80.2	41	1.3
泉区	117,267	116,637	154,025	152,378	76.1	49	76.5	51	0.4
青葉区	229,500	237,947	309,692	310,756	74.1	56	76.6	50	2.5
都筑区	203,387	206,330	211,751	213,132	96.1	15	96.8	15	0.8
川崎市	1,252,752	1,285,285	1,475,213	1,538,262	84.9	－	83.6	－	-1.4
川崎区	271,202	273,373	223,378	232,965	121.4	5	117.3	6	-4.1
幸区	161,136	165,154	160,890	171,119	100.2	8	96.5	16	-3.6
中原区	203,113	208,997	247,529	263,683	82.1	36	79.3	44	-2.8
高津区	171,823	178,786	228,141	234,328	75.3	51	76.3	52	1.0
多摩区	161,263	159,672	214,158	221,734	75.3	52	72.0	57	-3.3
宮前区	150,820	159,518	225,594	233,728	66.9	58	68.2	58	1.4
麻生区	133,395	139,785	175,523	180,705	76.0	50	77.4	49	1.4
相模原市	619,393	625,027	720,780	725,493	85.9	－	86.2	－	0.2
緑区	148,003	149,462	173,612	170,207	85.2	32	87.8	27	2.6
中央区	245,103	247,024	269,888	273,875	90.8	24	90.2	24	-0.6
南区	226,287	228,541	277,280	281,411	81.6	38	81.2	37	-0.4
横須賀市	366,821	355,222	406,586	388,078	90.2	25	91.5	23	1.3
平塚市	254,838	252,846	258,227	258,422	98.7	10	97.8	12	-0.8
鎌倉市	169,656	169,538	173,019	172,710	98.1	11	98.2	10	0.1
藤沢市	393,975	403,426	423,894	436,905	92.9	22	92.3	22	-0.6
小田原市	189,899	181,681	194,086	188,856	97.8	12	96.2	17	-1.6
茅ヶ崎市	184,695	188,116	239,348	242,389	77.2	47	77.6	47	0.4
逗子市	45,860	45,521	57,425	57,060	79.9	42	79.8	43	-0.1
三浦市	38,157	36,370	45,289	42,069	84.3	34	86.5	30	2.2
秦野市	142,315	139,676	167,378	162,439	85.0	33	86.0	31	1.0
厚木市	269,000	268,195	225,714	223,705	119.2	6	119.9	5	0.7
大和市	190,380	195,844	232,922	239,169	81.7	37	81.9	36	0.1
伊勢原市	95,049	96,453	101,514	101,780	93.6	21	94.8	20	1.1
海老名市	122,981	128,007	130,190	136,516	94.5	19	93.8	21	-0.7
座間市	103,290	110,351	128,737	132,325	80.2	41	83.4	35	3.2
南足柄市	37,431	36,052	43,306	40,841	86.4	28	88.3	26	1.8
綾瀬市	81,390	79,822	84,460	83,913	96.4	14	95.1	19	-1.2
葉山町	23,832	23,858	32,096	31,665	74.3	55	75.3	54	1.1
寒川町	45,148	46,307	47,936	48,348	94.2	20	95.8	18	1.6
大磯町	24,907	24,831	31,550	31,634	78.9	44	78.5	46	-0.4
二宮町	20,701	20,493	28,378	27,564	72.9	57	74.3	55	1.4
中井町	12,543	12,665	9,679	9,300	129.6	4	136.2	4	6.6
大井町	14,589	14,547	17,033	17,129	85.7	31	84.9	34	-0.7
松田町	10,728	10,522	11,171	10,836	96.0	16	97.1	13	1.1
山北町	10,366	9,918	10,724	9,761	96.7	13	101.6	8	4.9
開成町	15,309	16,034	17,013	18,329	90.0	26	87.5	28	-2.5
箱根町	18,459	18,192	11,786	11,293	156.6	3	161.1	3	4.5
真鶴町	5,470	5,087	7,333	6,722	74.6	53	75.7	53	1.1
湯河原町	21,488	20,487	25,026	23,426	85.9	30	87.5	29	1.6
愛川町	42,150	42,276	40,343	39,869	104.5	7	106.0	7	1.6
清川村	3,045	2,995	3,214	3,038	94.7	18	98.6	9	3.8

注) 不詳補完値による。



神奈川県

統計センター 人口・社会統計課 電話(045)312-1121(代表) 内線 2531、2532
横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2 〒221-0835